

令和 8 年 8 月 19 日

市政記者各位

福岡市美術館

特別展「カルン・タカール・コレクション インド更紗 世界をめぐる物語」を開催

福岡市美術館では、令和 8 年 10 月 17 日（土）より特別展「カルン・タカール・コレクション インド更紗 世界をめぐる物語」を開催致します。

つきましては、本展の広報にご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

特別展

カルン・タカール・コレクション インド更紗 世界をめぐる物語

茜や藍などの染料と、媒染剤や防染剤を用いて、木綿という染色の難しい素材に堅牢な染めを施す技術は数千年の昔にインドで生まれました。鮮やかな色彩で大胆かつ精緻な文様が染め上げられた木綿布は、日本では「更紗」、英語では「チンツ」と呼ばれ、世界を席卷しました。

本展では、インド更紗が世界的な商品となって数百年という時の流れで変化していく姿を、ロンドン在住のカルン・タカール氏のコレクションの名品でたどります。インド更紗がヨーロッパ、東南アジア、そして日本へもたらされることで、世界の人々が美意識を共有し、さらに各地で創造性を発揮していくさまを、本展に出品される更紗の数々でご堪能ください。



《白地人物草花文様更紗儀礼用布》17-18 世紀
Karun Thakar Collection, London.
Photo by Desmond Brambley

会 期	令和 8 年 10 月 17 日（土）～ 12 月 20 日（日）
会 場	2 階 特別展示室
開館時間	午前 9 時 30 分～午後 5 時 30 分 ※10 月の金・土曜日は午後 8 時まで （入館は閉館の 30 分前まで）
休 館 日	月曜日 ※ただし、10 月 19 日（月）、11 月 23 日（月・祝）は開館し 10 月 20 日（火）、21 日（水）、11 月 24 日（火）は休館。
観 覧 料	一般 1,700 円（1,600 円）、高大生 1,100 円（1,000 円）、中生以下無料 ※（ ）内は前売り、20 名以上の団体料金

関連イベント

カルン・タカール氏トークイベント
「わたしのインド更紗コレクションと本展について」

カルン・タカール氏をゲストに迎え、当展覧会監修の福岡アジア美術館館長・岩永氏との対談形式で、更紗の魅力やコレクションにまつわるエピソードをお話しいたします。

日 時	令和 8 年 10 月 17 日（土） 午後 2 時～3 時 30 分（30 分前開場）
会 場	1 階 ミュージアムホール
定 員	180 名（先着順）※聴講無料
講 師	カルン・タカール氏 岩永悦子（福岡アジア美術館 館長）

講演会「インド更紗ーグローバルなデザイン、ローカルなプロダクト」

当展覧会監修の福岡アジア美術館館長・岩永氏を講師に迎え、更紗の魅力についてわかりやすく解説する講演会です。

日 時	令和 8 年 11 月 21 日（土） 午後 2 時～3 時 30 分（30 分前開場）
会 場	1 階 ミュージアムホール
定 員	180 名（先着順）※聴講無料
講 師	岩永悦子氏（福岡アジア美術館 館長）

開会式・プレス内覧会

一般公開に先立ち、下記のとおり開会式とプレス内覧会を開催いたします。

開催日	令和 8 年 10 月 16 日（金）
時間	【開会式】 午後 4 時～午後 4 時 15 分 【プレス内覧会】 午後 4 時 15 分～午後 5 時 15 分
会場	2 階 特別展示室

プレス内覧会の冒頭に、当展覧会監修の福岡アジア美術館館長・岩永氏より展示概要をご説明します。説明終了後も展示室内はそのままご覧いただけます。

※事前申込不要。名刺をご持参の上、2 階ロビー（午後 3 時 45 分より受付開始）へお越しください。

【問い合わせ先】

経済観光文化局 美術館学芸課 後藤
TEL:092-714-6051



福岡市美術館

開館時間 9時30分～17時30分

※10月の土曜時まで入館は無料の30分前予約

休館日・月曜、また11月19日（月）は臨時休館

20日（火）は臨時休館、21日（水）は休館

11月23日（月）は臨時休館、11月24日（火）は休館

観覧料 一般 1,000円（1,600円）

高校生 1,000円（1,000円）

中学生以下 無料

※10月10日（土）～10月19日（日）は臨時休館



FaN
Fukuoka Art Next

インド更紗

世界をめぐる物語

Chintz A Global Story: The Karun Thakar Collection

2026
10/17 sat
12/20 sun
福岡市美術館
FUKUOKA ART MUSEUM



インド更紗世界をめぐる物語

カルン・タカールコレクション

Chintz A Global Story: The Karun Thakar Collection

2026
10/17 sat
12/20 sun
福岡市美術館
FUKUOKA ART MUSEUM

カルン・タカール・コレクション インド更紗 世界をめぐる物語

木綿に藍や茜で複雑な文様を色鮮やかに染め出した染織品である更紗。

インドで生まれた更紗は世界の人々を魅了し、東南アジアやヨーロッパ、日本など世界をめぐる貿易品となりました。

本展では、世界屈指の染織品コレクターとして知られるカルン・タカール氏のコレクションを中心に、

インド更紗が世界的な商品となって、各地の生活に受け入れられていく様子を時代を追って紹介します。

インドの神々をおおらかに描いた布から、世界各国の美意識を反映した華やかな布まで優品の数々をお楽しみください。



《白地人物草花文様更紗礼用布》
Hanging
17-18世紀

1 インド地域の更紗 Indian regional market goods

本章では、神々や供養者の姿をあらわした作品を紹介します。インドの人びとの祈りを反映したこれらの作品は貿易品というよりは地域の人びとの求めに答えるために作られたものでしょう。《白地マニッカヴァカカル物語図更紗掛布》は7.7mもある長大な布に40を超える物語場面が描かれており必見です。

《白地マニッカヴァカカル物語図更紗掛布》(部分)
Narrative hanging
18世紀



本章では、当初は香辛料取引のための通貨がわりであった更紗がヨーロッパの人びとの心をとらえ、魅力的な作品が生まれ出されていく様子を紹介します。ヨーロッパの人びとが特に好んだのは鮮やかな色彩で花文様をあしらった更紗で、壁掛などの室内装飾や服飾に用いました。

ヨーロッパ向けの更紗 European export and luxury trade

《白地草花文様更紗幼児用上衣》
Child's costume
18世紀



《草花文様更紗幼児用帽子》
Hat for girls
18世紀

《白地立木形花樹文様更紗掛布(パランポア)》
Wall- or bed-hanging
(palampore)
1740-60年頃



《ラフ神文様更紗上衣(サー・セナク)》
Soldier's tunic
(sari seni kurt)
18世紀後半

本章では、主にインドネシアやタイなど東南アジアへ向けて制作された更紗を紹介します。寺院の内部を飾る祈りの布はもちろん、身につける衣服も揃っており、更紗が人びとの生活に受け入れられていく様子もうかがうことができます。

初期アジア貿易の更紗 Early trade within Asia



《白地人物文様更紗礼用布(マア)》(部分)
Ceremonial cloth (ma'a or mawa)
1450-1650年頃

《白地太陽文様更紗礼用布(マタハリ)》(部分)
Ceremonial cloth (mata hari)
18世紀後半あるいは19世紀

更紗(ざらざ)とは

更紗とはインドで始まった、茜や藍などを用いて木綿の布を染めたものをいいます。洗っても色落ちせず鮮やかな色を保つ木綿の布は、大胆かつ繊細な文様の魅力とあいまって、世界の海を駆け巡る貿易品となりました。

グローバルに展開した更紗はやがて、それぞれの地域でローカル化していきます。インドやヨーロッパで作られた更紗が日本に輸入され、茶道具を包むための布として用いられていることはその象徴的な例です。本章では、更紗が世界各地で独自の展開をとげる様相をたどります。

デザインのグローバル化とローカル化 Globalisation and localisation of design



《高麗南浜茶碗付置 更紗包紮》(前期展示)
Wrapping cloth for the tea bowl, amamori type
17-19世紀 福岡市美術館蔵



《黒地蘭文様更紗裂》
Fragment of chintz
18世紀



《草花文様更紗ベッドセット》
Complete bed set
18世紀



Photo by Desmond Brambley

カルン・タカール Karun Thakar

カルン・タカールさんは、イギリス在住の染織品や工芸品のコレクターです。特にインド更紗のコレクションは、個人のコレクションだけでなくその歴史をたどれるほどの稀有なコレクションです。

【関連事業】

カルン・タカール氏トークイベント「わたしのインド更紗コレクションと本展について」
日時=10月17日(土) 14:00~15:30(30分前開場) 会場=1階ミュージアムホール
講師=カルン・タカール氏/岩永悦子(福岡アジア美術館 館長)
定員=180名(先着順) ※聴講無料

講演会「インド更紗—グローバルなデザイン、ローカルなプロダクト」
日時=11月21日(土) 14:00~15:30(30分前開場) 会場=1階ミュージアムホール
講師=岩永悦子(福岡アジア美術館 館長) 定員=180名(先着順) ※聴講無料

カルン・タカール・コレクション
インド更紗 世界をめぐる物語
2026年10月17日(土)～12月20日(日)
福岡市美術館
広報用作品画像データ申込書

福岡市美術館 広報・運営グループ
(福岡アートミュージアムパートナーズ(株))
委託: 西日本新聞イベントサービス

TEL: 092-714-6051(代表) FAX: 092-714-6071

E-mail :press@fukuoka-art-museum.jp

〒810-0051 福岡市中央区大濠公園1-6

広報用に作品画像データをご用意しております。ご希望の際は、以下にご記入の上、FAXもしくはE-mailでお申込みください。

- ・下記リストからご希望の作品にチェックをつけてください(作品イメージに関しては裏面をご参照ください)。
- ・本展広報目的での使用に限ります。使用可能期間は本展会期終了までとなります。
- ・展覧会名、会期・会場名のほか、画像の使用時には、指定するキャプション・クレジットを必ずご掲載ください。
複数点掲載の場合、重複する情報は省略可能な場合がございます。掲載前に広報事務局宛に校正紙をお送りください。
- ・作品画像は良識の範囲内でトリミングいただけます。ただし必ず校正紙の確認を行い、許可を得たものをご掲載ください。
- ・ご使用後はデータを廃棄するとともに、掲載誌、または同録DVDを当館宛に1部ご送付ください。

希望	作品NO	画像キャプション・クレジット
☐	1	《白地人物草花文様更紗儀礼用布》17-18世紀 Karun Thakar Collection, London. Photo by Desmond Brambley
☐	2	《白地人物草花文様更紗儀礼用布》18世紀 Karun Thakar Collection, London. Photo by Desmond Brambley
☐	3	《ラーフ神文様更紗上衣(サー・セナクツ)》18世紀後半 Karun Thakar Collection, London. Photo by Desmond Brambley
☐	4	《白地立木形花樹文様 更紗掛布(パランポア)》1740-50年頃 Karun Thakar Collection, London. Photo by Desmond Brambley
☐	5	《白地人物文様更紗儀礼用布(マア)》1450-1650年頃 Karun Thakar Collection, London. Photo by Desmond Brambley
☐	6	《白地太陽文様更紗儀礼用布(マタハリ)》18世紀後半-19世紀 Karun Thakar Collection, London. Photo by Desmond Brambley
☐	7	《白地草花文様更紗幼児用上衣》18世紀 Karun Thakar Collection, London. Photo by Desmond Brambley
☐	8	《草花文様更紗女兒用帽子》18世紀 Karun Thakar Collection, London. Photo by Desmond Brambley
☐	9	《草花文様更紗ベッドセット》18世紀 Karun Thakar Collection, London. Photo by Desmond Brambley
☐	10	《黒地扇文様更紗裂》18世紀 Karun Thakar Collection, London. Photo by Desmond Brambley
☐	11	《高麗雨漏茶碗付属 更紗包裂》17-19世紀 福岡市美術館蔵
☐	12	チラン表面 ※クレジット不要

ご住所	〒		
貴社名			ご所属
ご担当者名			
TEL/FAX	TEL	FAX	
E-mail			
貴媒体名	(発行部数 部)		
掲載号/発売予定日	月号/月日号 (月 日発売)		
素材締切日 最終校了日	素材締切日 (月 日) / 最終校了日 (月 日)		

カルン・タカル・コレクション
インド更紗 世界をめぐる物語
2026年10月17日(土)～12月20日(日)福岡市美術館
広報用作品画像データ申込書

福岡市美術館 広報・運営グループ
(福岡アートミュージアムパートナーズ(株))
委託: 西日本新聞イベントサービス

TEL: 092-714-6051(代表) FAX: 092-714-6071

E-mail: press@fukuoka-art-museum.jp

〒810-0051 福岡市中央区大濠公園1-6

①《白地人物草花文様更紗儀礼用布》17-18世紀

Karun Thakar Collection, London. Photo by Desmond Brambley



②《白地草花文様更紗ドレス用布地(部分)》18世紀

Karun Thakar Collection, London. Photo by Desmond Brambley



③《ラーフ神文様更紗上衣(サー・セナクッ)》18世紀後半

Karun Thakar Collection, London. Photo by Desmond Brambley



④《白地立木形花樹文様 更紗掛布(パランポア)》1740-50年頃

Karun Thakar Collection, London. Photo by Desmond Brambley



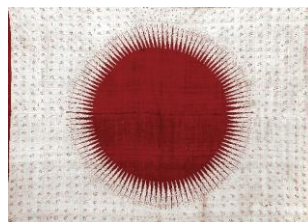
⑤《白地人物文様更紗儀礼用布(マア)》1450-1650年頃

Karun Thakar Collection, London. Photo by Desmond Brambley



⑥《白地太陽文様更紗儀礼用布(マタハリ)》18世紀後半-19世紀

Karun Thakar Collection, London. Photo by Desmond Brambley



⑦《白地草花文様更紗幼児用上衣》18世紀

Karun Thakar Collection, London. Photo by Desmond Brambley



⑧《草花文様更紗女児用帽子》18世紀

Karun Thakar Collection, London. Photo by Desmond Brambley



⑨《草花文様更紗ベッドセット》18世紀

Karun Thakar Collection, London. Photo by Desmond Brambley



⑩《黒地扇文様更紗裂》18世紀

Karun Thakar Collection, London. Photo by Desmond Brambley



⑪《高麗雨漏茶碗付属 更紗包裂》17-19世紀 福岡市美術館蔵



⑫チラシ表面 ※クレジット不要

